

カリキュラムツリー 薬学部 薬学科(2024年度～2025年度入学生)

1:知識・理解
2:当該分野固有の能力
3:汎用的能力
4:態度・姿勢
プログラムの到達目標

		1年		2年		3年		4年		5年		6年		DP(プログラムの到達目標)
分類		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
薬学専門科目	セミナー科目	フレッシュセミナーⅠA	フレッシュセミナーⅠB	フレッシュセミナーⅡA	フレッシュセミナーⅡB	アドバンスセミナーⅠA	アドバンスセミナーⅠB	アドバンスセミナーⅡ		アドバンスセミナーⅢ		アドバンスセミナーⅣ		2, 3, 4
	倫理・法規・制度	命とこころ	医療心理学	医療コミュニケーション			社会保障論		地域医療					1, 2
	物理系		薬品分析化学Ⅰ	薬品分析化学Ⅱ										1
	化学系		有機化学Ⅰ	薬品物理化学Ⅰ	薬品物理化学Ⅱ									1
			薬用植物学・生薬学	有機化学Ⅱ	有機化学Ⅲ	医薬品化学Ⅰ	医薬品化学Ⅱ							
	生物系		生化学Ⅰ	生化学Ⅱ	生化学Ⅲ	天然物化学	医薬品合成化学							1
			解剖生理学Ⅰ	解剖生理学Ⅱ										
	衛生薬学系			微生物学	免疫学									
					栄養薬学	衛生薬学Ⅰ	衛生薬学Ⅲ	衛生薬学演習						1, 2
						衛生薬学Ⅱ								
	医療薬学系			薬理学Ⅰ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅲ	薬理学Ⅳ	セルフメディケーション	サブリメント					1, 2, 3
				基礎病態生理学		薬物治療Ⅰ	薬物治療Ⅱ	薬物治療Ⅲ	薬物の有害作用					
					アロマセラピー		漢方薬							
				医療統計学		医薬品情報学								
					物理薬理学	薬物動態解析		応用薬理学Ⅰ	デジタル医療					
					生物薬理学	製薬科学	調剤科学Ⅰ	調剤科学Ⅱ						
	薬学臨床系	多職種連携入門	アクティブラーニングⅠ	アクティブラーニングⅡ		症例解析演習Ⅰ	症例解析演習Ⅱ	症例解析演習Ⅲ	症例解析演習Ⅳ			症例解析演習Ⅴ		1, 2, 3, 4
							臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ	臨床推論				
	薬学基礎実習・薬学研究	臨床基礎実習	基礎実習Ⅰ	基礎実習Ⅱ	基礎実習Ⅲ	基礎実習Ⅳ						臨床実習Ⅲ		3, 4
		薬学研究ⅠA		薬学研究ⅠB		薬学研究ⅠC		薬学研究Ⅱ				アドバンス臨床実習		
	アドバンス科目											薬学研究ⅢA		1, 2
												薬学研究ⅢB		
												薬学研究ⅢC		
													医薬特別講義Ⅰ	
教養系科目	一般教養											医薬特別講義Ⅱ		1, 2
												医薬特別講義Ⅲ		
												医薬特別講義Ⅳ		
														1, 2
														3
	薬剤師保健師連携コース	公衆衛生学		保健医療福祉行政論		公衆衛生看護管理論								1, 2

DP1. 知識・理解

- ①自然並びに人間社会・文化に対する理解を深めている。
- ②医療や健康の維持増進に必要な基礎薬学の知識を修得している。
- ③薬物治療に必要な医療薬学の知識を修得している。
- ④健康の維持増進に必要な衛生薬学の知識を修得している。
- ⑤医療の実践に必要な臨床薬学の知識を修得している。
- ⑥医療・介護・福祉に関する倫理や法制度を理解している。
- ⑦情報・科学技術に関する倫理や法制度を理解している。

DP2. 当該分野固有の能力

- ①代表的な症例を解析し、評価するとともに、問題点を挙げ適切な薬物治療を提案できる。
- ②調剤、医薬品情報の収集及び服薬指導を実践できる。
- ③薬学的知見に基づいて、地域住民の健康を支援することができる。
- ④セルフメディケーションを支援することができる。

DP3. 汎用的能力

- ①自ら様々な問題を発見し、専門的知識や調査・研究技術を駆使して分析、考察した上で、問題解決の手段を提案できる。
- ②他者の主張を理解することに努め、自分の考えを論理的に説明することや発表することができ、かつ他者と討論ができる。
- ③日本語による論理的な記述ができる。
- ④英文資料を活用できる。

DP4. 態度・姿勢

- ①生涯にわたって情報収集や研鑽を継続し、最良の薬物治療や地域住民の健康の維持増進に貢献する姿勢を備えている。
- ②医療人として必要とされる責任感と高い倫理観を有し、地域住民の健康に貢献する態度を備えている。
- ③患者や医療スタッフと適切なコミュニケーションを取り、多職種連携を実践する姿勢を備えている。
- ④常に患者のQOL向上を意識する姿勢を備えている。
- ⑤薬物治療において、有効性の判断や、重篤な副作用を回避するために、自ら患者の状態や検査を経時的に評価する姿勢を有している。

カリキュラムツリー 薬学部 薬学科(2023年度入学生)

	1年			2年				3年				4年					5年		6年		卒業認定・ 学位授与の 方針(ディ プロマ・ポリ シー)
分類	前期	後期	前期		後期		前期		後期		前期		後期			前期	後期	前期	後期		
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q							
薬学専門科目	セミナー科目	フレッシュセミナーⅠA (薬剤師倫理)	フレッシュセミナーⅠB (薬剤師プロフェッション)	フレッシュセミナーⅡA (コミュニケーション)		フレッシュセミナーⅡB (地域社会と医療)		アドバンスセミナーⅠA (医療リスクと倫理)		アドバンスセミナーⅠB (環境・情報倫理)		アドバンスセミナーⅡ (薬剤師の行動規範)					アドバンスセミナーⅢ (薬剤師のモラルジレンマ)		アドバンスセミナーⅣ (薬剤師プロフェッショナリズム)		1
	倫理・法規・ 制度	薬学概論 医療倫理入門						社会保障論		薬事関係法規		地域医療と法制度									1、2
	物理系		薬品分析化学Ⅰ 基礎化学	薬品分析化学Ⅱ	薬品物理化学Ⅰ 有機化学Ⅰ	薬品物理化学Ⅱ 有機化学Ⅱ	有機構造解析	有機化学Ⅲ	生薬学	生体有機化学		医薬化学	日本薬局方								2
	化学系		基礎有機化学			薬用植物学															2
	生物系		人体の構造・機能	生体の機能調節	生理活性物質 とシグナル伝達	代謝とエネル ギー産生	微生物学			免疫学		感染症と 化学療法	バイオテクノロジー								2
			生体分子の化学	遺伝子の構造・ 機能			細胞生物学														
			タンパク質の構造・ 機能																		
	衛生薬学系			栄養と健康			公衆衛生 と健康	食品と健康	生活環境と 健康Ⅰ	化学物質と健康	生活環境と 健康Ⅱ										2
	医療薬学系		生物統計学		病態生理学Ⅰ		薬理学Ⅰ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅲ	薬物治療学Ⅰ 物理薬剤学	薬物治療学Ⅱ 生物薬剤学 製剤学	薬理学Ⅳ 薬物動態解析 漢方薬 応用製剤学	医薬品の安全性	医薬品情報学	セルフメディケーション			臨床薬物治療総合演習			2
														薬物治療学Ⅳ 臨床検査学							
	薬学臨床系										調剤学	薬学臨床実習Ⅰ				薬学臨床実習Ⅱ					2、3、4
	薬学実習・ 卒業研究		薬学基礎実習	化学系実習Ⅰ 生物系実習Ⅰ				化学系実習Ⅱ 生物系実習Ⅱ				卒業研究				卒業研究	卒業研究				2、3
	アドバンス科目				アロマセラピー					医薬品合成化学 サプリメント			病態治療統合講義Ⅰ 病態治療統合講義Ⅱ		病態治療統合講義Ⅲ				実践薬学 医薬特別講義Ⅰ 医薬特別講義Ⅱ 医薬特別講義Ⅲ 医薬特別講義Ⅳ		2
													基礎薬学総合演習						薬学総括講義		2
	総合科目																				2
教養系科目	語学	英語ⅠA	英語ⅠB 薬学数学	英語ⅡA		英語ⅡB		英語Ⅲ		英語Ⅳ											2
	薬学準備教育	薬学系化学入門 薬学系物理学入門 薬学系分析化学入門 生物学入門(人体) 生物学入門(細胞) 科学数学 看護学入門																			2
		●日本国憲法 ●心理学 ●発達心理学 ●社会学 ●生涯学習論 ●地域生涯学習論 ●ボランティア論 ●くらしと経済 ●就職支援A ●就職支援B ●地球環境と防災 ●レクリエーション論 ●レクリエーション実技Ⅰ ●レクリエーション実技Ⅱ ●情報リテラシー演習・DS概論 ●国際コミュニケーションⅠ ●国際コミュニケーションⅡ ●国際コミュニケーションⅢ ●ホリデー留学 ●化学基礎演習 ●物理学基礎基礎演習 ●分析化学基礎演習 ●生物学基礎演習 ●人間社会と医療 ●命とこころ ●生活と倫理 ●疾病の歴史 ●精神保健学Ⅰ ●精神保健学Ⅱ ●SDGs概論 ●SDGs各論A ●SDGs各論B ●SDGs各論C ●SDGs演習																			1
		薬剤師保健 師連携コース	公衆衛生学	保健医療福祉行政論				公衆衛生看護管理論													2

DP① 医療職としての心と態度を備え、生涯にわたる研鑽と次世代の医療を支える人材の育成に取り組む意欲を有している。

DP② 薬学の専門知識・技能・態度領域の力を身につけ、それらを総合的に活用することができる。

DP③ 医療、地域、社会における問題や課題を発見し研究によって解決する論理的思考力、判断力、行動力を備え、生涯にわたりそれらを高めてゆく意欲を有している。

DP④ 健康に係る問題を解決するため、患者・生活者中心という視点から他の医療職とコミュニケーションをとり、薬物療法の専門職として連携・協働できる。

カリキュラムツリー 薬学部 薬学科(2022年度入学生)

	1年			2年				3年				4年					5年		6年		卒業認定・ 学位授与の 方針(ディ プロマ・ボ リシー)
分類	前期	後期	前期		後期		前期		後期		前期		後期			前期	後期	前期	後期		
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q							
薬学専門科目	セミナー科目	フレッシュセミナーⅠA (薬剤師倫理)	フレッシュセミナーⅠB (薬剤師プロフェッション)	フレッシュセミナーⅡA (地域社会と医療)		フレッシュセミナーⅡB (コミュニケーション)		アドバンスセミナーⅠA (医療リスクと倫理)		アドバンスセミナーⅠB (環境・情報倫理)		アドバンスセミナーⅡ (薬剤師の行動規範)				共用試験 C B T ・ O S C E	アドバンスセミナーⅢ (薬剤師のモラルジレンマ)		アドバンスセミナーⅣ (薬剤師プロフェッショナリズム)		1
	倫理・法規・ 制度	薬学概論 医療倫理入門						社会保障論		薬事関係法規		地域医療と法制度									1、2
	物理系		薬品分析化学Ⅰ 基礎化学	薬品分析化学Ⅱ	薬品物理化学Ⅰ 有機化学Ⅰ	薬品物理化学Ⅱ 有機化学Ⅱ	有機構造解析	有機化学Ⅲ	生薬学	生体有機化学		医薬化学	日本薬局方								2
	化学系		基礎有機化学			薬用植物学															2
	生物系		人体の構造・機能	生体の機能調節	生理活性物質 とシグナル伝達	代謝とエネル ギー産生	微生物学			免疫学		感染症と 化学療法	バイオテクノロジー								2
			生体分子の化学	遺伝子の構造・ 機能			細胞生物学														
			タンパク質の構造・ 機能																		
	衛生薬学系			栄養と健康			公衆衛生 と健康	食品と健康	生活環境と 健康Ⅰ	化学物質と健康	生活環境と 健康Ⅱ										2
	医療薬学系		生物統計学		病態生理学Ⅰ		薬理学Ⅰ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅲ	病態生理学Ⅱ	医薬品の安全性	医薬品情報学	セルフメディケーション						臨床薬物治療総合演習		2
								薬物治療学Ⅰ 物理薬剤学	薬物治療学Ⅱ 生物薬剤学 製剤学	薬理学Ⅳ 薬物動態解析	薬物治療学Ⅲ 漢方薬 応用製剤学		薬物治療学Ⅳ 臨床検査学								
	薬学臨床系									調剤学		薬学臨床実習Ⅰ					薬学臨床実習Ⅱ				2、3、4
	薬学実習・ 卒業研究		薬学基礎実習	化学系実習Ⅰ 生物系実習Ⅰ				化学系実習Ⅱ 生物系実習Ⅱ				卒業研究					卒業研究	卒業研究			2、3
		アドバンス科目			アロマセラピー						医薬品合成化学 サプリメント	病態治療統合講義Ⅰ 病態治療統合講義Ⅱ	病態治療統合講義Ⅲ						実践薬学 医薬特別講義Ⅰ 医薬特別講義Ⅱ 医薬特別講義Ⅲ 医薬特別講義Ⅳ		2
	総合科目												基礎薬学総合演習						薬学総括講義		2
教養系科目	語学	英語ⅠA	英語ⅠB 薬学数学	英語ⅡA		英語ⅡB		英語Ⅲ				英語Ⅳ								2	
	薬学準備教育	薬学系化学入門 薬学系物理学入門 薬学系分析化学入門 生物学入門(人体) 生物学入門(細胞) 科学数学 看護学入門																		2	
		●日本国憲法 ●心理学 ●発達心理学 ●社会学 ●生涯学習論 ●地域生涯学習論 ●ボランティア論 ●くらしと経済 ●就職支援A ●就職支援B ●地球環境と防災 ●レクリエーション論 ●レクリエーション実技Ⅰ ●レクリエーション実技Ⅱ ●情報リテラシー演習・DS概論 ●国際コミュニケーションⅠ ●国際コミュニケーションⅡ ●国際コミュニケーションⅢ ●ホリデー留学 ●化学基礎演習 ●物理学基礎演習 ●分析化学基礎演習 ●生物学基礎演習 ●人間社会と医療 ●命とこころ ●生活と倫理 ●疾病の歴史 ●精神保健学Ⅰ ●精神保健学Ⅱ																			1
		薬剤師保健 師連携コース	公衆衛生学		保健医療福祉行政論			公衆衛生看護管理論												2	

DP① 医療職としての心と態度を備え、生涯にわたる研鑽と次世代の医療を支える人材の育成に取り組む意欲を有している。

DP② 薬学の専門知識・技能・態度領域の力を身につけ、それらを総合的に活用することができる。

DP③ 医療、地域、社会における問題や課題を発見し研究によって解決する論理的思考力、判断力、行動力を備え、生涯にわたりそれらを高めてゆく意欲を有している。

DP④ 健康に係る問題を解決するため、患者・生活者中心という視点から他の医療職とコミュニケーションをとり、薬物療法の専門職として連携・協働できる。

カリキュラムツリー 薬学部 薬学科(2018年度～2021年度入学生)

	1年		2年				3年				4年					5年		6年		卒業認定・ 学位授与の 方針(ディプ ロマ・ポリ シー)
分類	前期	後期	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期	後期	前期	後期		
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q						
薬学専門科目	セミナー科目	フレッシュセミナーⅠA (薬剤師倫理)	フレッシュセミナーⅠB (薬剤師プロフェッション)	フレッシュセミナーⅡA (地域社会と医療)		フレッシュセミナーⅡB (コミュニケーション)		アドバンスセミナーⅠA (医療リスクと倫理)		アドバンスセミナーⅠB (環境・情報倫理)		アドバンスセミナーⅡ (薬剤師の行動規範)				アドバンスセミナーⅢ (薬剤師のモラルジレンマ)		アドバンスセミナーⅣ (薬剤師プロフェッショナリズム)		1
	倫理・法規・ 制度	薬学入門 医療倫理入門						社会保障論		薬事関係法規		地域医療と法制度								1、2
	物理系		薬品分析化学Ⅰ 基礎化学	薬品分析化学Ⅱ	薬品物理化学Ⅰ 有機化学Ⅰ	薬品物理化学Ⅱ 有機化学Ⅱ	有機構造解析	有機化学Ⅲ	生薬学	生体有機化学		医薬化学	日本薬局方							2
	化学系		基礎有機化学			薬用植物学														2
	生物系		人体の構造・機能	生体の機能調節	生理活性物質 とシグナル伝達	代謝とエネル ギー産生	微生物学			免疫学		感染症と 化学療法	バイオテクノロジー							2
			生体分子の化学	遺伝子の構造・ 機能			細胞生物学													
			タンパク質の構造・ 機能																	
	衛生薬学系			栄養と健康			公衆衛生 と健康	食品と健康	生活環境と 健康Ⅰ	化学物質と健康	生活環境と 健康Ⅱ									2
	医療薬学系		生物統計学		病態生理学Ⅰ		薬理学Ⅰ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅲ	病態生理学Ⅱ	医薬品の安全性	医薬品情報学	セルフメディケーション				臨床薬物治療総合演習			2
								薬物治療学Ⅰ 物理薬理学	薬物治療学Ⅱ 生物薬理学 製剤学	薬理学Ⅳ 薬物動態解析	薬物治療学Ⅲ 漢方薬 応用製剤学	臨床検査学	薬物治療学Ⅳ							
	薬学臨床系									調剤学		薬学臨床実習Ⅰ				薬学臨床実習Ⅱ				2、3、4
	薬学実習・ 卒業研究		薬学基礎実習	化学系実習Ⅰ 生物系実習Ⅰ				化学系実習Ⅱ 生物系実習Ⅱ				卒業研究				卒業研究		卒業研究		2、3
	アドバンス科目				アロマセラピー					医薬品合成化学 サプリメント		病態治療統合講義Ⅰ 病態治療統合講義Ⅱ		病態治療統合講義Ⅲ				実践薬学 医薬特別講義Ⅰ 医薬特別講義Ⅱ 医薬特別講義Ⅲ 医薬特別講義Ⅳ		2
総合科目											基礎薬学総合演習						薬学総括講義		2	
教養系科目	語学	英語ⅠA	英語ⅠB	英語ⅡA		英語ⅡB		英語Ⅲ				英語Ⅳ								2
	薬学準備教育	化学系薬学概論	薬学数学																	2
		物理系薬学概論	生物系薬学概論Ⅱ																	
		生物系薬学概論Ⅰ																		
		分析化学概論																		
一般教養	●日本国憲法 ●心理学 ●発達心理学 ●社会学 ●生涯学習論 ●地域生涯学習論 ●自己啓発 ●ボランティア論 ●オフィスコミュニケーション ●経営学 ●経済学 ●キャリアアプラン ●都市環境情報 ●スポーツ文化論 ●レクリエーション論 ●レクリエーション実技Ⅰ ●レクリエーション実技Ⅱ ●コンピュータ演習Ⅰ ●コンピュータ演習Ⅱ ●国際コミュニケーションⅠ ●国際コミュニケーションⅡ ●国際コミュニケーションⅢ ●ホリデー留学 ●人間社会と医療 ●命とこころ ●生活と倫理 ●疾病の歴史 ●精神保健学Ⅰ ●精神保健学Ⅱ																			1
薬剤師保健 師連携コース	公衆衛生学				保健医療福祉行政論		公衆衛生看護管理論												2	

DP① 医療職としての心と態度を備え、生涯にわたる研鑽と次世代の医療を支える人材の育成に取り組む意欲を有している。

DP② 薬学の専門知識・技能・態度領域の力を身につけ、それらを総合的に活用することができる。

DP③ 医療、地域、社会における問題や課題を発見し研究によって解決する論理的思考力、判断力、行動力を備え、生涯にわたりそれらを高めてゆく意欲を有している。

DP④ 健康に係る問題を解決するため、患者・生活者中心という視点から他の医療職とコミュニケーションをとり、薬物療法の専門職として連携・協働できる。